

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

2024



ひがしっ子 5月



園長コラム

保護者会総会には多くの保護者の方に出席いただきましてありがとうございました。園テーマでもあります「心のこもった園づくり～こどもの成長を保護者・保育者が共に支える園～」となるように努めてまいります。至らないことも多く恥ずかしい限りですが、責任もって取り組んでまいります。また、総会でもお伝えしました渡辺さんが役員会で正式に保護者会会長として承認されました。今後とも保護者と保育者で子ども達の成長を支えていきましょう。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今回のお題は子育てを取り巻く環境についてお話します。

子育ての環境は大きく変化しています。そんな中、こども家庭庁が設立され、子育ては家族だけではなく、社会全体で行っていきましょうと国が改めて宣言しました。そのための中核的な部署が真岡市でいうところの「こども家庭センター」ということとなります。育児のしかたやストレス、発達障害等の支援など、子育てに関するあらゆることの情報を集め、関係機関に繋げていくのが主な役割となります。

状況によっては、私も園長として幼稚園や保育園の視点から、会議やカンファレンス等に参加させていただいております。



リンク
真岡市こども家庭センター

ただし、公的な機関であるということ、プライバシーが厳しく守られる時代である等の理由から、「こういった子育て支援の制度がありますよ。気兼ねなくお声掛けください。」というのが基本姿勢となりますので、声がかからないと行政や関係機関は基本的に支援ができない制度です。そのため、前向きな人とそうでない人で差が生まれる制度となります。時間がなかったり、恥ずかしかったり、面倒だったりと様々な理由はあるようですが、子育てに幼稚園や保育園を利用するのが当たり前であるように、子育てにこども家庭センターを中心とした関係機関を利用する時代になってきていると感じています。子育てに対する悩みやトラブル、自分の考えや願いなどを適切に発信して、よき相談相手になってくれる仲間や組織をたくさん作っていくのが、これからの保護者に求められるスキルになってくることでしょう。



0～2歳児クラスの1か月

はじめまして

新しい居場所、新しいクラス、新しい人…。新入園児が多い0～2歳児クラスにとって、東園は不安がいっぱい。そんな不安なこども達と共に過ごす大人のすべきことは、笑顔で語りかける、目と目を合わせる、その子の名前を呼ぶ等々。保育というより、人として当たり前のかかわりを積み上げることから東園での生活がスタートします。



3～5歳児クラスの1か月

一緒に遊んで

新しい年がスタートしてだんだんとクラスらしさが見えてきました。それはなぜでしょうか。慣れ？もちろんそれもありますが、一番は先生たちがこども達と一緒に遊んだ時間です。遊ばせているのではなく、一緒に遊んでいる先生たちの姿がたくさんありました。





自然体験

ピンポイントで天気が悪い日を除けば、快晴の日が続きました。農園、大前神社、井頭公園などなど。自然をたくさん感じられる場所に子ども達もたくさんお出かけしました。また、ミニトマトなどの栽培も始まりました。自分たちで世話をする中でたくさんのことを学んでくれることでしょう。

